



島原城築城400年記念事業協賛事業
全国龍馬社中・島原龍馬会講演会

講演「鉄道と島原半島の未来」

～龍馬が歩いた九州の文化と歴史の旅～



講師 JR九州龍馬会会長 青柳 俊彦 氏
九州旅客鉄道（株）代表取締役社長執行役員

○日時 令和4年2月26日（土）
午後2時 開演

（開場 午後1時30分）

○会場 島原文化会館中ホール
島原市城内一丁目1177の2

入場無料

青柳 俊彦（あおやぎ としひこ）プロフィール

1977年日本国有鉄道（当時）入社。民営化に伴い、JR九州へ。
鹿児島支社長、専務取締役鉄道事業本部長などをへて、2014年から、現職。
坂本龍馬の精神に学び、グローバルな視点から見た九州・日本のあるべき
未来や、その活性化の方策について考えることを目的に、2010年に
世界で2番目の企業龍馬会「JR九州龍馬会」を設立。

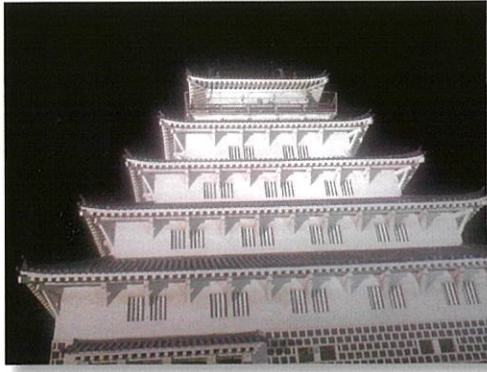
- 主催／島原龍馬会（会長 八木國男）
- 後援／島原市・島原市教育委員会・長崎新聞社・島原新聞社
カボチャテレビ・ひまわりてれび・FMしまばら・FMひまわり
- お問い合わせ 島原龍馬会事務局 0957-62-2097（内嶋）

新型コロナウイルス対策として、マスク着用と連絡先記入をお願いします。

島原街道

一八六四年 島原藩
海舟・龍馬入港

島原街道の碑：勝海舟
坂本龍馬の入港年を刻む



講演「鉄道と島原半島の未来」について

勝海舟と坂本龍馬が島原の港に上陸して160年ちかくが経過しました。この歴史を顕彰するため、その城下町に暮らす私ども島原龍馬会は、毎年2月に、講演会や舞台公演などをおこなってきました。

令和3年は、新型コロナウイルス感染が世界中を襲う未曾有の状況で、開催することができませんでしたが、その感染対策や対応の方法が明らかとなり、今回の開催となりました。

コロナ禍の中、低迷する地域と産業の活性化は重要な問題です。これを考えるとき、坂本龍馬を朝日の中で迎えた島原城や闊歩した城下町が、島原にはありました。昔から、歴史を物語る多くの史跡や旧跡を求めて、人々は旅をし観光に出かけては大いに元気づけられたのです。

そこで、今回の講演会は、JR九州龍馬会会長の青柳俊彦氏を迎えて、歴史と文化が織りなす九州や島原半島の観光のあり方、また鉄道の未来について語っていただこうと思います。

青柳会長は、もちろんJR九州の社長でもあります。島原市で全国龍馬社中九州ブロック大会を開催したときも来島され、熱い龍馬の志を胸にいただく論者でもあります。まもなく開通する九州新幹線・西九州ルートがもたらす、島原半島への観光の影響や、そのとき歴史が果たす役割など、その未来について熱く語っていただこうと思います。そして、かつて坂本龍馬が歩いて長崎へ向かった城下町は築城400年となる島原城の下にあって、講演会会場から天守閣が見えています。

この講演会に多くの方がご参加くださるようお願いいたします。

また、この講演会は九州中の龍馬愛好者へも呼びかけ、多数の龍馬ファンが島原や長崎の歴史的な風景の中を散策され、地域の文化や観光の振興に役立つものになりたいと考えております。

どうぞ、よろしくお願いたします。

島原龍馬会 会長 八木 國男

資料提供などのご協力をいただいたJR九州龍馬会のみなさま ありがとうございます。

◎講演会のお問い合わせは、島原龍馬会事務局（0957-62-2097 内嶋）まで。

◎この公演は、新型コロナウイルス感染予防のため、ご入場はマスク着用とし、来場者の住所・連絡先を記入していただきます。また、開場の換気のためドアの一部を開け、満員の場合は入場制限をする場合があります。